

# 徳山藩に奈古屋はん

わしの少年時代の遊び場に母校まで時々、毛利の殿様

天地成行C…♪ことばに  
できーずー…れいでいー  
君いはー雨にー濡れたー

天地成行B…おつ、Cさ  
ん。大江千里さんの「お



「まじやん」ひなはん、「こんにく」ハンバーグ。  
錦町産「こんにく」鹿野高野豚(丸久久米店で購入)

ごだね。映画のエンディ  
ングで秦基博さんがカバ  
ーしたり、横原敬之さんも  
大江さんをリスpektし  
てるよねー。この年末は  
雨より山下達郎さんのよ  
うな雪をテーマにした歌  
の方が良いのでは？

天地成行C…ばかたれー！  
からの「しやぶしやぶ  
のたれー」！大江さん  
といったら、大江姓の徳  
山藩をおとりつぶしから  
防いだ永遠のヒーロー  
「奈古屋里人(さとんど  
さん)」じゃろーがー！  
今年最後のあり方委員会  
は、この奈古屋里人を  
はじめとしただ、徳山  
藩の藩校・鳴鳳館(めい  
ほうかん)を七代藩主の  
命を受けて創設した「奈  
古屋蔵人」さん含め徳山  
なのに「奈古屋」まつり  
じゃー！

天地成行B…名古屋なら  
ぬ(A、V)なるほどー。  
ういろいろでもつながる？  
そーいえば子どもの時に

本屋に行っていたけど、  
そこ、漢字が逆の「鳳鳴  
館」じゃったよね。「週  
刊ゴング」週刊か月刊の  
パソコン雑誌「アスキー」  
買ったよねー。

天地成行C…♪ほんぶりに  
なったらー、でんわを  
かけよっかなー……

天地成行B…おーいCさ  
ん、今度は「本降りになっ  
たら」歌ってる。Aさん  
なんとかわいいなさいよ！

天地成行A…♪ほんぶりに  
なったらー、まどをほ  
そくあけてー。あなたの  
いるまちのくうきをさそ  
いこむよー

天地成行B…渡辺美里の  
パートを歌い始めやがっ  
た。年末だから職場放棄  
してらー。みんなでボケ  
てたら「笑い飯」のネタ  
になっちゃうよー。ここ  
はテレビにかつてしてい  
たあれ。Aさんに優しく  
「角チョップ」！

(頭部をちよこんとチョッ  
プ)

天地成行A…おー、  
すみませんBさん。Cさ  
んもたいそうなこと言っ  
てるねー。年末ゆるゆる  
読めるものにしたしましよ  
うよ。どうせギヤグミた  
いな脳内会話ですけえ。  
そーいえば、有馬記念か  
ら帰って来て母と丸久に  
寄ったら「錦こんにやく  
を使った鹿野高野豚ハン  
バーグ」が二個入りで2  
98円(税抜き)であり  
ましたなー。はい、脱線。  
Cさん、歌い終わった？  
ならどうぞー。

天地成行C…けっ、せっ  
かく周南市立図書館など  
でいろいろ調べて、大作  
の小説に仕立て上げて出  
版社の賞でもとつたらか  
いおもうたけど、まあえ  
えわ。おもしろいこか。

徳山藩がおとりつぶしに  
なった三代・元次さまの  
時代から。元次さまは、  
庶子(正室でない女性か  
ら産まれた子)でな、母  
が京都の紺屋の娘だった  
そうだ。だから元次さ  
まは武より文にも重きを  
置かれた。詩文を集めた  
『徳山雑吟』や遠石八幡

遠石八幡宮から海を臨むと新幹線や山陽本線、工場群が見える



宮や遠石町の事を記した『遠石記』。ほかに『徳山附記』などを作らせた。それでそれまでの家老を追放したという記述もあって、その中に宇部の小野領から来た桂家も追放したとか。。これについては来年また小野で取材じゃ。ほいで、奈古屋さんがようやく登場。彼は百石と少ない部下だったが、京都で東山区に青漣院で書を学んで、時の天皇陛下に閲覧される名譽

などあって、二十石加増で元次さまに重用されたんじゃない。

天地成行B…まじめなんですけどー。勉強になります。

天地成行C…そういう文化の土壌が徳山藩に出きたところに「万役山（まんにやくやま）事件」で藩がなくなっちゃった。里人さんは防府の三田尻に意見したことで飛ばさ

れ、役人などみんなちりじりになる。こういうことは当時はあったのかも。しかし、山形新庄藩に行ってしまった主君の無念や、藩の再興を思う気持ちは最高にあつて、「自己終生ノ事業」と藩再興へ動き出したのじゃー。

天地成行B…ちなみに、ネットワークで無血に事を運んだことまでは、なんとなくわかるんだけど、

具体的には？

天地成行C…京にまず上り書法家の青漣院宮さまのところにいき説明。里人は萩や三田尻、山口に居住したらしいけど。ちりじりのみんなも同じ思い。情報を送り、間者を勤め、飛脚の役まで59人が関わって全国へ飛びまわった。さらに里人は祈願もパねえ。伊勢に加茂に比叡に鞍馬。天地成行がホットウイスキーを飲んだ鞍馬出身のテキ屋さんの祖先ともすれ違ったかも。これこそ天運信じて。なお、解決時に徳川吉宗だったこともののちの関係するど、この天運は。

天地成行B…ほいほい。

天地成行C…当時はな、兵庫の播州赤穂の四十七士のように、「命賭けて」が武士の志と言われて、藩再興のためなら「わしが切腹して訴える！」という意気ある方が多数おられた。ちなみに天地は両国にいた時に吉良邸跡や吉良まつりに行っていたがまたいつか。

しかし里人さんは与謝野晶子よりも早く？

「みんな死にたまふことなかれ」の精神で、アツき思いを天皇陛下が目に見えるような達筆で、享保4年の正月に『周防徳山領百姓中』という文にしたため、里人から戸田、戸田から岡部六七とリレーし、老中・大目付・目付の屋敷に投げ込んだ。これをわしは「江戸の中心で文（ふみ）を投げる」略して「セカチューならぬ、『エドチュー』」と名付ける！！ 瞳を閉じて…：ここでも、長澤まさみさんがでてきちゃうしー。

天地成行A、B…おお！！なんてキヤツチな。

天地成行C…そのうち一通が將軍・徳川吉宗の目に留まる。親しく閲覧されたそうさ。「徳山藩百姓の祈願感心である」とし、詮議に図るよう命じた。幕府の間人は、その文が百姓が書いたと誰も思わなかった。それほどまでに素晴らしいもので

あり、將軍以下、こういう部下を持った主君は立派に違いないと思つたはず。というわけで、毛利元次さまは山形新庄藩から江戸の高輪まで戻つてこられたが、53歳で亡くなつた。五月二十八日は、藩再興の記念日で祝宴。これは令和の周南市でもしてるのかな？ シビックプライドへぜひ！

天地成行B…一見、一件落着ですね。

天地成行C…50歳でようやく徳山の地に戻つた里人さんは、藩は再興できたが主君を失つたこととか、寺社への天運への感謝を「御家再興ができたのも神明の加護があつたからで、何がしか讃岐の金毘羅と伊勢の大神宮に奉納を」と頼んだが、重役方は萩本藩に遠慮して、里人の忠誠心は認めらるが、応じられないと神仏の力を藩は認めず。これが徳山を離れた理由だろうな。

「徳山にすぎたるものが二つある 桜の馬場に奈古屋里人」

天地成行C…次！ 大江千里さんのジャズを聴きながら「奈古屋蔵人」さんいこー。七代・就馴の時代に、萩本藩に遅れること66年・藩校「鳴鳳館」ができる。これを担ったのが、奈古屋蔵人さん。30年近く藩の中樞で仕えた方だ。ちなみに里人さんは家名断絶して離れた地に、里人さん没（一

七四一）後二年経って、蔵人さんは生まれたようだ（一七四三）。

天地成行B…そうなんだ！あれから徳山藩は、里人さんがいる京に贈り物や寄付を届けたとあるから、以後の徳山では、奈古屋さんはみんなに感謝されたんだろうね。蔵人さんもそのような中勤められ

たと推察。

天地成行C…ちなみに萩の明倫館の二代学頭は、山県周南さんという。またとにかく徳山藩では、国富鳳山さんという方が学問については貢献されたようだ。学問としては朱子学から古文辞学というものに宝暦年間以降変わったんだそう。よー



わからんで、以降積み残しー。まあ、学派としては一大変革期であったことは間違い梨。

天地成行B…おお、片山大樹。阪神タイガースの一軍コーチに。来年は三月に大谷翔平率いるドジャースとも一戦。カブスの鈴木誠也とも！ すごい。あれまた逸れちゃった（A、Δ、）

天地成行C…とにかく、徳山高校はこの「鳴鳳館」が源流となる。徳山高等女学校には、与謝野鉄幹が国語を教えていた。この方は著書に「天地玄黄」がある。天は黒、地は黄色か？ 阪神や（A、Δ、）周姫が産まれた就隆さまから始まった全国三大陣屋を「持った」徳山藩。こねいな歴史があるどー。結構「盛った」かもな！。なんつって。

来年こそ…

「仕切ります」



天地成行A

「こなします」



天地成行B

天地成行B…Cさん決まったね！ 今年も「天地成行あり方委員会」楽しかったー。あれ？ 今回結構積み残しがありますね。書かなかったけど、幸田露伴さんが、本名・成行（しげゆき）で東京時代の職場と没地が、住んでいたところだったとか、大江姓や菅原姓は祖先がスサノオとか、ほかにもいろいろ。考えすぎてパニックになっちゃうよー。

天地成行A…Bさん、考えない考えない。さところ、からの、みつんど、からの、Cさんもほい、みんなでせーの！。

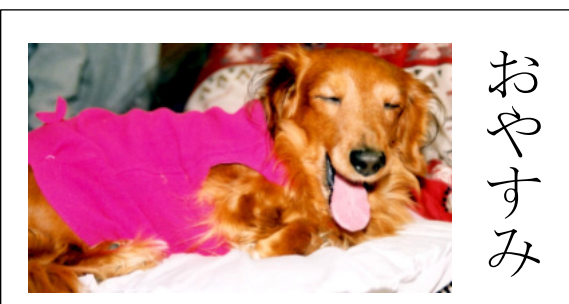
天地成行A、B、C…みつんどー。

天地成行C…よしや。徳山の銀座で打ち上げじゃー。わしについてこー！

吠えなよー



天地成行C



おやすみ

天地成行A、B…割り勘で頼みます。

参考資料）

『昭和五年六月 奈古屋左衛門大江里人小傳』（松軒會）

『私の城下町徳山 心に残るゆかりの人々』（小川宣）

『徳山藩鳴鳳館の創設について』（兼重宗和）